

中国現地法人 財務実態把握のポイント

山田ビジネスコンサルティング株式会社
事業本部第一部 中国事業部コンサルタント
山田商務諮詢(上海)有限公司 駐在員

平井 孝明

ひらい たかあき

2012年7月から当社の中国現地法人 山田商務諮詢(上海)有限公司に赴任。現場に密着して、中国現地法人の実態把握・管理体制の構築・業績改善の支援及び各種許認可申請、当局との交渉等を行う。



POINT

中国現地法人の財務実態を把握することは難しいことではありません。中国の財務諸表や会計帳簿の体系・内容、会計ルールは、日本のものと大きな違いはありません。どのような財務諸表や会計帳簿があるかを知り、“発票主義”会計に注意し、主要な中国語の会計用語を知れば、日本と同様に、中国の財務内容も容易に理解することが出来ます。

1 中国現地法人の財務実態の把握を妨げるもの

「中国現地法人の損益がよく掴めない」「中国現地法人の試算表がリアルタイムに出てこない」など中国現地法人の責任者の方や日本本社の社長から、お悩み、お嘆きの声をよく聞きます。しかし、本当にそうなののでしょうか？

実際には、中国の財務諸表や会計帳簿の体系・内容、会計ルールは、日本と大きな違いはなく、中国語のハードルさえクリアできれば、現地法人の財務実態の把握はさほど難しいことではありません。しかし、現地法人の責任者は多くが営業部門や製造部門ご出身で会計の知識を持ち合わせていない、日本の経理担当者も「中国だから」という理由で端から分からないと決めつけているケースが見受けられます。また、そもそも、中国ではどのような財務資料が手に入るか

知らないがゆえに、現地の経理担当者にあいまいな指示をし、必要な資料を入手出来ていないケースもあります。財務内容の理解を妨げている要因の多くは、これらの思い込みや、知識・コミュニケーションの不足にあると想像いたします。



2

中国の財務諸表・会計帳簿

中国では、通常、企業は毎月15日までに税務申告を行う必要があります。当月の中旬には前月の財務内容を確認することが出来ます。その点、日本よりも財務内容の迅速な把握が容易であると言えるかもしれません。

また、ほとんどの企業が会計システムを導入しており、会計システムを用いて経理処理を行っています。会計システムから、総帳（総勘定元帳）、序時帳（仕訳日記帳）、余額表（試算表）、現金/銀行日記帳（現金/銀行預金出納帳）など、エクセル形式で簡単に抜き出すことが出来ます。実態把握においては、余額表（試算表）、序時帳（仕訳日記帳）などの活用が有効です。余額表（試算表）は、上から貸借対照表、製造原価明細書、損益計算書の順番で並んでいます。余額表には、期間、科目コード、科目名称、期首残高、当期借方・貸方発生額、期末残高などの情報が含まれ、日本の試算表とよく似ています。序時帳からは、時系列で全ての経理処理を見ることができ、気になる取引があれば、内容をトレースすることが可能です。

また、銀行取引は、日本からでもインターネットバンキングで残高照会・入出金明細の確認・支払手続き・支払承認を行うことが出来ます。不正や無駄遣いの防止に効果的です。インターネットバンキングは、中国のほとんどの銀行で利用可能です。

3

いわゆる“発票主義” 会計には要注意

中国と日本の会計ルールに大きな違いはありません。ただし、いわゆる“発票主義”会計による経理実務処理には注意が必要です。発票（ファーパーチャオ）とは、領収書兼請求書で、納税を証明する証憑であり、経理処理の際に、欠かせないものです。

中国の会計ルールでも原則は発生主義ですので、本来、売上や費用は納品時など、発票の授受とは無関係に計上することになっています。しかし、多くの企業は、発票の授受があった時に売上や費用を計上しています（“発票主義”会計）。その背景は、発票は一取引決済に一通のみ存在するため、発票が無ければ支払わない、あるいは資金を受領しなければ発票を発行しないといった慣行があることに加えて、税務上は、発票ではなく単なる受取書を徴した支出を損金計上できないことにあるようです。また、発票の授受があった時に売上や費用を計上すべきと現地税務当局から指導される場合もあります。

“発票主義”会計に拠る場合には以下のように、企業の損益等

の財務実態の把握が困難になります。

①在庫の過大計上

商品を販売先に納品し既に在庫としては存在していないにもかかわらず、発票を発行していないため、帳簿上、商品在庫が計上されている。

②在庫の過少計上

原材料を仕入れ既に入庫されたにもかかわらず、発票が届いていないため、帳簿には原材料在庫が計上されていない。

③売上・売掛金の不一致

商品を販売しているが領収書としての発票を発行していないため、売上・売掛金を計上すべきであるにもかかわらず、これらが計上されていない。

以上のような場合には、実態把握のため、本来の会計ルールに拠る記帳を徹底するとともに、実際の在庫と試算表上の在庫が一致しているかどうか毎月チェックをする必要があります。

4

日中対訳会計用語

最後に、中国語の会計用語に触れます。中国語が並んだ財務諸表や会計帳簿は、見る側のやる気を削いでしまいます。しかし、会計用語の理解には、中国語の文法、発音や聞き取り力も不要です。定型的な用語を知っているか知らないか、馴れているか馴れていないか、ただ、それだけです。以下に、日中対訳会計用語の抜粋表を掲載いたします。この表を片手に毎月、余額表（試算表）を見ることによって、身近に感じることができると思います。是非ご活用下さい。



日中対訳会計用語(企業会計準則)抜粋

日 本 語	中 国 語
財務諸表	财务报表
貸借対照表	资产负债表
損益計算書	利润表
キャッシュフロー計算書	现金流量表
会計帳簿	会计帐簿
仕分日記帳	序时账
総勘定元帳	总账
試算表	科目余额表
現金/銀行預金出納帳	现金/银行日记账
勘定科目	会计科目
売掛金	应收账款
前渡金(前払金)	预付账款
その他未収入金	其他应收款
前払費用	待摊费用
固定資産/無形資産	固定资产/无形资产
建設仮勘定	在建工程
減価償却累計額/償却累計	累计折旧/累计摊销
買掛金	应付账款
前受金	预收账款
未払給与	应付职工薪酬
未払税金	应交税费
その他未払金	其他应付款
主要業務収入(売上)	主营业务收入
製造原価	生产成本
販売費用	销售费用
管理費用	管理费用
財務費用	财务费用
減価償却費	折旧